

議事日程第1号

平成18年11月20日(月)

- 第 1 会期の決定
  - 第 2 会議録署名議員の指名
  - 第 3 議案上程(議案第99号)  
提案理由の説明(市長)、質疑
  - 第 4 決算特別委員会設置、付託
- 

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

---

出席議員(23人)

|           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1番 中田敏彦   | 2番 吉田清孝  | 3番 三浦利通  |
| 4番 古仲清紀   | 5番 柳楽芳雄  | 6番 高野寛志  |
| 7番 船木正博   | 8番 中田謙三  | 9番 佐藤巳次郎 |
| 10番 吉田直儀  | 11番 畠山富勝 | 12番 越後貞勝 |
| 13番 三浦桂寿  | 14番 木元利明 | 15番 船木金光 |
| 16番 安田健次郎 | 18番 船橋金弘 | 19番 中田俊雄 |
| 20番 大森勝美  | 21番 佐藤美子 | 22番 杉本博治 |
| 23番 高桑國三  | 24番 船木茂  |          |

---

欠席議員(1人)

17番 笹川圭光

---

議会事務局職員出席者

|      |      |
|------|------|
| 事務局長 | 今泉金正 |
| 次長   | 加藤謙一 |
| 主幹   | 小玉一克 |

主 査 畠 山 隆 之  
主 任 武 田 健 一

---

説明のため出席した者

|         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 市 長     | 佐 藤 一 誠 | 助 役     | 佐 藤 文 衛 |
| 収 入 役   | 伊 藤 正 孝 | 教 育 長   | 高 橋 金 一 |
| 監 査 委 員 | 加 藤 金 一 | 総務企画部長  | 板 橋 継 喜 |
| 市民福祉部長  | 三 浦 正 勝 | 産業建設部長  | 山 口 淨 児 |
| 国体事務局長  | 齊 藤 憲 雄 | 若美総合支所長 | 畠 山 信 英 |
| 教 育 次 長 | 沢 木 隆   | 農業振興局長  | 三 浦 光 博 |
| 企画政策課長  | 高 桑 直 廣 | 総 務 課 長 | 沖 口 重 博 |
| 財 政 課 長 | 武 田 英 昭 | 福祉事務所長  | 佐 藤 誠 一 |
| 農林水産課長  | 清 水 博 己 | 会 計 課 長 | 佐 藤 隆 二 |
| 選管事務局長  | 佐 藤 龍 雄 | 監査事務局長  | 児 玉 守 美 |
| 農委事務局長  | 伊 藤 利 信 |         |         |

## 午前10時01分 開 会

○議長（船木茂君） これより、平成18年11月臨時会を開会いたします。

ただちに、本日の会議を開きます。本日の議事は議事日程第1号をもって進めます。

---

### 日程第1 会期の決定

○議長（船木茂君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は本日1日といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（船木茂君） ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定しました。

---

### 日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（船木茂君） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

9番佐藤巳次郎君、10番吉田直儀君を指名いたします。

---

### 日程第3 議案第99号の上程

○議長（船木茂君） 日程第3、議案第99号を議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

---

#### 【職員朗読】

議案第99号 平成17年度男鹿市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について

---

○議長（船木茂君） 提案理由の説明を求めます。佐藤市長

#### 【市長 佐藤一誠君 登壇】

○市長（佐藤一誠君） 皆様おはようございます。

本日、平成18年11月臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、ご出席を賜りまして誠にありがとうございました。

本臨時会でご審議いただきます議案件は、平成17年度男鹿市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定についてであります。提出議案の説明に先立ちまして、諸般の報告を申し上げます。

まず、脇本第二小学校の統合についてであります。

同校は明年4月、全学年が複式学級になる状況から、8月と9月に学区全体を対象とした説明会を開催し、学校統合の協議を行った結果、同意が得られ、明年4月1日に脇本第1小学校と統合することで10月23日、関係者代表と確認書の取り交わしをいたしたところであります。市といたしましては、今後、統合にあたっての環境づくりに誠意を持って取り組んでまいりたいと考えております。

次に、私の交際費の返還についてであります。

交際費につきましては、これまで支出基準を定め、適正な執行に配慮してきたところでありますが、平成14年の大阪高裁の判例などを基に、政治集会などへの交際費支出は不適正である旨の新聞報道がなされました。私は、この一連の報道により、初めて大阪高裁の判例を知り、この判例に準拠して、交際費の支出を調査した結果、平成18年度及び平成17年度において、政党や政治家に対し、会費やお祝いとして12件、12万1千円を支出しておりました。これらについては、公益性があるものと考え、交際費から支出したものでありますが、判例を重く受けとめ、市に返還することとし、今月2日にその手続きを終えております。

私の認識不足からこのような結果となったことは、誠に遺憾であります。今後は判例に即して行政の政治的中立性に反する特定の政党などへの交際費の支出は行わないよう支出基準の見直しを行っており、今後とも市民の皆様のご理解が得られるようより一層適正な執行に努めてまいります。

また、市議会議長の交際費につきましても、同様の考えから、去る11月15日付けで返納通知をいたしたところであります。

次に、職員の不祥事についてであります。去る9月13日、男鹿みなと市民病院の職員が事務室の金庫から職員、振興会名義の預金通帳を持ち出して、5回にわたり158万円を引き出し、自己の借入金返済に充てたものであり、引き出した金額は後日、家族が全額返済いたしております。しかしながら、その行為は公務員としてあるまじき非行であり、10月12日付けで本人を停職3カ月、直属の上司である4人に対し、

それぞれ訓告、嚴重注意の処分をいたしたところであります。このような不祥事が発生したことは誠に遺憾であり、市議会をはじめ市民の皆様に深くお詫びを申し上げる次第であります。

今後、このようなことのないようより一層服務の規律の確保に努めるとともに、職員の綱紀肅正に万全を期してまいり所存であります。

それでは、ただいま議題となりました議案第99号平成17年度男鹿市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について、提案理由のご説明を申し上げます。

まず、平成17年度一般会計の決算額は歳入総額で178億984万3千円、歳出総額では175億1千953万9千円となったもので、この結果、歳入歳出差引額は2億9千30万4千円となりますが、このうち、繰越明許費の財源として5千523万1千円を繰り越いたしましたので、実質収支は2億3千507万3千円となったものであります。この剰余金のうち、1億2千万円を財政調整基金に積立てし、残額の1億1千507万3千円を平成18年度会計に繰り越したものであります。

平成17年度は、合併初年度という状況下に加え、人口の減少、少子高齢化の進展、雇用情勢の停滞など、極めて厳しい社会経済環境のもと、国の三位一体改革により、国庫補助負担金の一般財源化や交付税の大幅な削減が行われ、さらには豪雪対策に多額の費用を要した中で、限られた財源の適切かつ効率的な運用を図るなど、財政の健全性に配意しつつ、地域の均衡ある発展と速やかな一体化に努めながら、諸施策事業に取り組んできたところであります。その主な施策事業といたしましては、総合体育館をはじめ、デジタル方式の防災行政無線施設整備、牧野安全寺間の広域関連農道整備、脇本近隣公園整備、内子団地及び鶴木団地公営住宅建設、脇本保育園整備、消防施設整備など、各種事業が完了したほか、新たに観光案内機能施設整備事業及び男鹿温泉郷環境整備事業に着手するとともに、引き続き広域廃棄物処理施設整備をはじめ、若美中央地区などの担い手育成基盤整備、ため池等整備、馬生目地区高度高能率生産団地網整備、若美漁港地域水産物供給基盤整備、門前漁港機能高度化事業などを推進するとともに、三本松橋本線、船越弘戸線、申川鶴木線、打ヶ崎飯ノ森線などの道路改良事業やなまはげライン道路修繕事業、さらには、陸上競技場改修事業など、秋田わか杉国体開催に向けた各種施設整備など、各種事業を実施してきたところであります。

さらにテレビスポット広告の放映をはじめとした観光誘客宣伝事業の実施など、観光振興対策の充実を図ったほか、転作の団地化を推進し、複合経営の確立を図るため、転作団地化育成事業などを推進するとともに、種苗、放流等による資源の回復に努め、漁業の振興を図ってきたところであります。

また、引き続き商工業振興促進雇用奨励金、施設整備助成金、市融資制度の活用など、地元中小企業の経営基盤と雇用機会の拡大に努めてきたほか、教育環境の整備充実を図るため、校舎の維持補修に努めるとともに、小中学校の耐震化優先度調査を実施したほか、認可保育園の延長保育の実施、乳児養育支援金や出産祝金の支給など、少子化対策、介護慰労金の支給など、在宅福祉サービスの充実、小規模作業所への助成など、自立支援対策、脇本城跡の環境整備、総合体育館完成記念事業など、各般にわたり諸施策を実施し、地域経済の活性化を図るとともに、市民福祉の向上に努めてきたところであります。

以上、一般会計の決算概要について申し上げましたが、各般にわたり施策事業を推進できましたことは、議会をはじめ市民各位のご支援、ご協力の賜であり、深く感謝を申し上げます。

次に、国民健康保険特別会計では、歳入が4億1千752万3千894円、歳出が3億9千876万8千188円で、歳入歳出差引残額は1億8千754万9千10円となったものであります。

老人保健特別会計では、歳入が4億9千347万5千94円、歳出が4億9千798万9千359円で、歳入歳出差引不足額は、3千751万8千765円となり、これについては、翌年度歳入繰上充用金で補てんしたものであります。

診療所特別会計では、歳入が3千363万7千375円、歳出が3千88万6千773円で、歳入歳出差引残額は275万602円となったものであります。

介護保険特別会計では歳入が2億6千926万2千977円、歳出が2億5千174万7千920円で、歳入歳出差引残額は、4千751万5千57円となったものであります。

デイサービス事業特別会計では歳入が1億5千182万8千966円、歳出が1億5千96万8千980円で、歳入歳出差引残額は85万9千986円となったものであります。下水道事業特別会計では、歳入が1億7千611万2千623円、歳出が1

6億8千61万3千31円で、歳入歳出差引残額は2千549万9千592円となったものであります。農業集落排水事業特別会計では、歳入が8千387万5千727円、歳出が8千153万1千548円で、歳入歳出差引残額は234万4千179円となったものであります。

漁業集落排水事業特別会計では、歳入が7千241万90円、歳出は7千51万566円で、歳入歳出差引残額は189万9千524円となったものであります。

以上、提出議案についてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

○議長（船木茂君） これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（船木茂君） 質疑なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

---

#### 日程第4 決算特別委員会の設置

○議長（船木茂君） 日程第4、決算特別委員会の設置を議題といたします。

お諮りいたします。議案第99号については、委員会条例第6条の規定に基づき、委員11人をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託した上、閉会中の継続審議といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（船木茂君） 異議なしと認めます。よって、議案第99号については委員11人をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審議とすることに決しました。

次に、お諮りいたします。決算特別委員会の委員の選任については、委員会条例第8条1項の規定に基づき、当席より指名いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（船木茂君） 異議なしと認めます。よって、委員を指名いたします。笹川圭光君、中田俊雄君、大森勝美君、三浦桂寿君、高野寛志君、古仲清紀君、高桑國三君、三浦利通君、木元利明君、安田健次郎君、佐藤美子さん、以上、11名の諸君を決算特別委員会の委員に選任することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（船木茂君） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名の諸君は決算特別委員会の委員に選任されました。

なお、決算特別委員会は明日11月21日、午前10時より議事堂に招集いたします。

以上告知いたします。

以上で、本日の議事は終了いたしました。これで11月臨時会を閉会いたします。

---

午前10時17分 閉 会



会 議 録 署 名 議 員

議 長 船 木 茂

議 員 佐 藤 巳 次 郎

議 員 吉 田 直 儀

